

# from ボランティアセンター

ボランティアセンター

☎042-475-0739

月～金曜日  
午前8時半～午後5時15分

## お知らせ 令和7年度 ボランティア保険・行事保険

ボランティア保険は、ボランティア活動中の「傷害」と「賠償責任」の2つの補償をセットにした保険です。年間保険料は350円から。加入時には氏名、住所、電話番号が必要です。社協事務局、中央町地区センターで加入できます。※おつりの用意はありません。

市民活動団体が主催するイベントでの「傷害補償」と「主催団体の賠償責任補償」がセットになった「行事保険」と、当日までに参加者の特定が難しい活動を対象にした「当日参加対応型」も取り扱っています。

詳しくは、(有)東京福祉企画ホームページをご確認ください。



東京福祉企画ホームページ

## 募集 音訳ボランティア体験講座

広報ひがしくるめや社協だより、ボランティア通信などの活字情報を音声化して視覚障がいのある人へ届ける音訳ボランティア体験講座です。

- 日 時：5月22日(木) 午後2時～4時
- 会 場：中央町地区センター(第3・4会議室)
- 定 員：10名
- 申し込み：申込フォームまたは電話、ファクス

- ①氏名 ②年齢 ③住所 ④電話番号をお知らせください

- 受付期間：4月1日(火)～5月9日(金)
- 協 力：東久留米音訳ボランティアグループ「声」



〈申込フォーム〉



声のメンバー

### 【音訳ボランティアとは】

音訳とは、視覚に障がいのある方々にとっての「目」となり、書かれている内容を忠実に音声で伝える、「声に出して読む」ことです。

視覚に障がいのある方が情報を得る手段としては点字もありますが、中途失明の方が多くいる現代では、点字をスムーズに読める方は全体の1割ほどと言われています。

そのため、音声による情報は非常に重要な役割を担っています。

目に見える情報は、単に文字だけではなく、写真や表、グラフ、地図など、視覚に頼る情報も含まれます。これらを正確かつ分かりやすく説明することが、音訳者に求められるスキルです。

音訳ボランティアは、原本に忠実に、聴き取りやすく、そして分かりやすく読むことを心がけています。

## 支え合いの輪を広げます

# 〈地域福祉コーディネーター事業〉

ちょっと気になる 身近な困りごとは地域福祉コーディネーターへ  
市受託事業として西部地域(小金井街道西側の地域)に担当職員1名を配置しています。

生活の中での悩みや困りごと、地域の中で感じていることや気になっていることなど、自分だけではなくお知り合いのことで結構です。地域の皆さまと協力して解決に向けたお手伝いをします。

### 【西部地区】

地域福祉コーディネーター事業では、どこに相談したら良いかわからず困っていることや複雑な暮らしの困りごとの相談が寄せられた際に、地域のつながり(ネットワーク)を活かして支援を行っています。

令和6年4月から令和7年2月までの相談は18件、うち西部地域は10件の相談がありました。

特に多かったのは相談先がわからない困りごとについてでした。



相談者

引っ越してきたばかりでつながりがない。どこに相談したら良いのか

地域で支え合う居場所づくりの活動があります。興味がある所があったら、一緒に見学へ行ってみませんか?



コーディネーター

相談内容によっては、市役所や地域包括支援センターなどの福祉相談に同行することもあります。

お気軽にお問い合わせください。

### 【市全域】 お話を聞くだけでもかまいません ひがしくるめ ひきこもり家族会

家族が学校にいかない、家にもっていない、仕事をしていない、関わり方がわからない...悩んでいるのはあなただけではありません。家族同士で悩みを分かちあい、つながり支え合う会です。ほっとできる場としてお気軽にご参加ください。

※この会は、ご家族とサポーター(不登校支援者、障がい福祉事業者等)で運営しています。

こんなお話がありました

・家族自身がほっとして、元気になるための場所が家族会です。

・初めて参加しました。久しぶりに元ひきこもり当事者同士の話をすることができました。

・家族の悩み、ひきこもり経験者の体験談

(話した内容や個人の秘密は守ります)

日時 4月13日(日) 午後2時～4時(午後1時45分受付、入退室自由)

場所 市役所7階701会議室(本町3-3-1)

対象 ひきこもりでお悩みの家族または本人

定員 20人(各開催日の4日前までに申し込み)

内容 参加者同士の交流

参加費 無料

申し込み 申込フォーム、電話

①氏名(ふりがな) ②年代 ③電話番号 ④お住まいの市(申込フォーム)をお知らせください



家族会

【連絡先・問い合わせ】地域福祉コーディネーター(社会福祉協議会ボランティアセンター) ☎042-475-0739 ☎042-476-4545

## 祝 受賞おめでとうございます!

### 令和6年度 東京都知事感謝、中央共同募金会会長表彰

長年のご功績をたたえ、この度の栄えある受賞を心よりお祝い申し上げます。

#### 東京都知事感謝(社会福祉協力者)

#### 東久留米音訳ボランティアグループ「声」



昭和56年から、市内を拠点に図書や市広報の音訳、「新聞切り抜き帳むさしの版」の月1回発行や個別の依頼による音訳の活動を継続。地域に密着して丁寧にリスナーの声を拾い上げ、市民目線を大切にしている活動は、地域福祉の向上に大きな役割を果たしている。

※fromボランティアセンターに関連記事掲載しています

#### 中央共同募金会会長表彰(奉仕功労者)

#### 佐々木 久利子 様

【会員代表(社協評議員)】

平成26年4月から東京都共同募金会東久留米地区協力会理事。本市らしい共同募金運動の推進に尽力している。

## 同じ地域で暮らす誰もが、気軽に立ち寄り集える えんがわのような居場所

# みんなのえんがわ中央町

令和6年11月にグランドオープンした「みんなのえんがわ中央町」は、地域の誰もが気軽に立ち寄り、安心していただけるみんなの居場所です。出会った人とおしゃべりをしたり、ひとりでゆっくりと過ごしたり、散歩途中の休憩などに利用できます。

### えんがわサポーター(ボランティア)大募集!

運営委員会とえんがわサポーター、社協がアイデアと力を合わせて運営しています。えんがわサポーターは現在6人。協力できるサポーターが2名以上そろそろ日をオープン日としています。オープン日を増やすため、サポーターを募集しています!

#### えんがわサポーター

- 内容：オープン準備・片づけ、掃除、プログラム補助、話し相手など。
- ※運営委員や社協職員と一緒に活動する日もあります。

- 時間：平日 午前9時半～午後1時、午後1時～4時半
- 頻度：月1回 半日～
- 条件：ボランティア説明会に参加、ボランティア保険加入、社協個人ボランティア登録が必要です。

#### えんがわサポーターの声

～空いた時間で気軽に、肩ひじ張らずに～

何かをしてみたい、何をしたらいいのか悩んでいるのならば、ボランティアの入り口としてちょうどいいと思います。調理や給仕などをしないので気楽にできます。気構えず、一緒におしゃべりして和気あいあいと楽しめましょう。こういう場所は必要だと思うので、サポーターが増えて、毎日オープンできるようになるといいですね。おしゃべりだけでもいい、まずは遊びに来てください。



(左) 小柳 真理子さん (右) 海老沢 千穂子さん

### 指定寄付

この活動は、趣旨に賛同する市民や企業・団体の皆さまのご寄付により運営しています。地域の居場所活動のため、ご協力をお願いいたします。

### 看板ができました!

居場所づくりをご支援くださる東京東久留米ライオンズクラブ様に看板を寄贈していただきました。可愛らしい看板を目印にお越しください。



(右から)東京東久留米ライオンズクラブ 島崎 清二会長、松村 一幹事、社協 松本 誠一会長

【場所】中央町2-1-28



使い方やオープン予定日は、社協ホームページでご確認いただくか、電話でお問い合わせください。

最新のカレンダーはこちら▶

【問い合わせ】みんなのえんがわプロジェクト担当 ☎042-471-0294

## 令和6年度 歳末たすけあい募金 地域福祉活動補助金 実績報告会を開催しました

2月7日、令和6年度地域福祉活動補助金を利用した4つのボランティア団体が報告を行いました。この補助金は、市民が協力して集めた歳末たすけあい募金を財源とし、地域福祉の推進と地域共生社会の実現を図ることを目的に使用されています。

### 1 NPOころあ

◆事業名：NPOころあイベント事業 / 交付金額：50,000円(立ち上げ資金最終年)

属性や背景を問わずに参加しやすい場を地域で開催し続けたことで、通常の福祉的な支援の枠組みにおさまらない方たち同士でつながり合い、認め合うことができました。



ヒンメリ・モビール作りワークショップ

### 2 東久留米国際友好クラブ

◆事業名：無線LAN(Wi-Fi)対応のプロジェクター購入 / 100,000円

団体のプロジェクターを使用することで準備が容易になり、効率の良い研修・学習や、市民に向けた国際理解講座等の開催ができました。



購入したプロジェクターを使っの日本語学習支援ボランティア研修

### 3 住みよいまち弥生

◆事業名：住みよいまち弥生 / 68,000円

ニュースレターの発行やお祭りなどのイベントを通して、顔の見えるつながり強化や防災防犯意識の向上を目的に活動してきました。次年度も、しっかりと地域で暮らすということに向かい、知識を身につけながら、活動を続けていきたいと思えます。



車椅子を押しての防災まち歩き

### 4 発達障害当事者会 一刻の会

◆事業名：発達障害当事者会 一刻の会 / 100,000円

発達障がい当事者や家族が参加しやすく、お互いに悩みを聞いたり、情報交換できる場の開催などの活動をしてきました。オンラインイベントの実施も目指して、引き続き当事者会活動を行ってまいります。



一刻の会